

報道機関各位



取 扱 注 意		
解禁日時	新 聞	3月18日・朝 刊
	ラジオ・テレビ・インターネット	3月17日17時メド
	ただし、国文化審議会終了後	

※国（文化庁）、県からも発表されます。

Press Release

令和5年3月17日

海老名市温故館（旧海老名村役場）が国の登録有形文化財に登録へ

国の文化審議会は、3月17日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、市内の「海老名市温故館（旧海老名村役場）」を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

これにより、市内の登録有形文化財は「旧今福家住宅」、「嶋崎家住宅」と合わせ3カ所6件になります。

「海老名市温故館（旧海老名村役場）」は、大正7年建築の木造洋風の庁舎建築です。
二階建寄棟造^{にかいだてよせむねづくり}棧瓦葺^{せんがぶき}で、東に切妻造^{きりまづくり}の玄関ポーチ^{げんげんぽうち}を付し、北に寄棟造^{よせむねづくり}を増築しています。
外壁は下見板張^{したみいたばり}で、内部一階は現状三室、北に階段を配し、二階は一室となっています。
玄関ポーチの柱頭^{ちゅうとう}や破風板^{はふいた}の装飾が特徴的な村役場の建物です。

昭和57年から海老名市立郷土資料館とし活用し、平成22年に、大山街道沿いから約180メートル北西に移築、相模国分寺跡に近接する郷土資料館として親しまれています。

詳細については、別紙をご参照ください。



▲海老名市温故館（旧海老名村役場）

◎この件に関する問い合わせ

海老名市教育部教育総務課 電話 046-235-4925